

労働生産性(従業員一人当たりの付加価値額)

2022年度の労働生産性(全産業・全規模)は738万円

※製造業(全規模)902万円、非製造業(全規模)694万円

(1) 財務指標の説明

労働生産性とは、従業員一人当たりの付加価値額を言い、付加価値額を従業員数で除したものです。

労働の効率性を計る尺度であり、労働生産性が高い場合は、投入された労働力が効率的に利用されていると言えます。

$$\text{労働生産性(円)} = \frac{\text{付加価値額}^*}{\text{従業員数}}$$

* 付加価値額＝人件費**＋支払利息等＋動産・不動産賃借料＋租税公課
＋営業純益***

** 2006年度調査以前：

人件費＝役員給与＋従業員給与（従業員賞与を含む）＋福利厚生費

2007年度調査以降：

人件費＝役員給与＋役員賞与＋従業員給与＋従業員賞与＋福利厚生費

*** 営業純益＝営業利益－支払利息等

貸借対照表

資産の部	負債の部
I 流動資産	I 流動負債
II 固定資産	II 固定負債
III 繰延資産	
	純資産の部
	I 株主資本
	II 評価・換算差額等
	III 新株予約権
資産合計	総資本（負債・純資産合計）

損益計算書

I 売上高
II 売上原価
売上総利益
III 販管費
営業利益
IV 営業外損益
経常利益
V 特別損益
税引前当期純利益
VI 法人税等
当期純利益

(2) グラフで見る最近の動き

2022年度は、製造業では付加価値額の対前年度増加率が従業員数の増加率を下回ったことから労働生産性は前年度比で低下している一方、非製造業では付加価値額の対前年度増加率が従業員数の増加率を上回ったことから労働生産性は前年度比で上昇しており、全産業で見た労働生産性は前年度比で上昇しています。

